

若さと情熱で市政へ挑戦!! これからの高知への責任

ふじかわ

藤川 ゆうすけ

高知市議会議員
(自由民主党・中道の会)

33歳
1児の父



【ご挨拶】第500回定例会(R6.3月定例会)を振り返って

3月27日(水)に記念すべき第500回定例会(R6.3月定例会)が閉会し、令和6年度当初予算をはじめとする議案が可決されました。来年度当初予算は一般会計で1,561億円と過去2番目の予算規模となりました。

厳しい財政状況の中、桑名市長が公約に掲げられている「人口減少対策」や「こども・子育て支援」として、「結婚新生活支援事業の創設」や「中学生までの医療費無償化」、「中学進学時祝金支給事業の創設」、「民間保育所等の使用済おむつの処分補助」などの新規・拡充事業も多く盛り込まれ、大いに歓迎をさせていただきました。

私自身も当選からはや1年が経過し、公務政務の両立を図りながら活動をさせていただいております。今年度はさらに、市民の皆さまの声、業界・団体の声、様々な声を聞き、「現場の声を届ける」ことを目標に、現場に足を運び活動していきたいと考えております。

次回R6.6月定例会では個人質問を行う予定をしておりますので、お時間の許す方はぜひ傍聴にお越しください。今年度も引き続きよろしく願い申し上げます。

高知市議会議員 藤川 裕介 拝

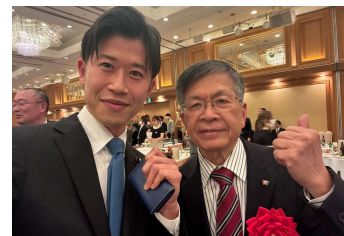
【公務・政務活動報告】令和6年1月～3月



【R6.1.9～11】
姉妹都市交流@北海道北見市



【R6.1.29～30】
四国若手議員の会研修会@安芸市



【R6.2.1】
観光開きでの岡崎前市長との1枚



【R6.2.15】
ブレイキン団体との市長表敬



【R6.2.17】
尾崎国交政務官とのご挨拶回り



【R6.2.21】
R6.3月定例会に向けた市長説明



【R6.3.6】
訪問介護事業者の皆さまとの意見交換会



【R6.3.13】
高知市中央倫理法人会MSでの講話

第500回市議会定例会において代表質問(自由民主党・中道の会)を実施!

質問・答弁内容(一部抜粋)

質問項目は以下の5項目について第1問として計23問、第2問で計3問の合計26問。桑名市長、教育長、関係部局長に答弁を求めました。

録画動画はこちら↓



1. 人口減少問題について(7問)

【質問】

これまでの少子化対策は、既に子どもを持つ世帯への支援に重きを置いてきたが、それらの支援が婚姻数や出生数の増加に繋がるインセンティブ(要因・誘因)になり得るものなのか、なぜこの10年間上手くいかなかったのか市長に伺う。

【答弁】

- 今議会で提案している「中学生までの医療費無償化」をはじめ、子育て世帯への支援を拡充し続けてきたが、ここ10年間で本市の人口が約2万人減少している状況は、既に子どもを持つ世帯へのみでは、少子化対策は薄かったと痛感している。
- 「なぜ効果がなかったのか」という理由は「カップルなくして出生なし」という具体的な数値分析に基づく、(株)ニッセイ基礎研究所人口動態シニアリサーチャーである天野さんの本県への指摘が、本市においても全く同様の理由が大きな一因であったと反省をしている。
- その反省に立ち返り、新年度からは若い世代を含めた新婚世帯への新生活スタート時の費用を支援することとした。婚姻をためらう要因の一つでも和らげることで、新たな結婚生活に踏み出していただけるよう、県ともしっかりと連携して、結婚・子育てに希望を持てる街の実現を目指す。

2. 財政について(1問)

【質問】

本市財政を取り巻く外部環境や財政指数に対するご認識、監査委員意見に対する受け止め、今後の財政健全化と挑戦的な市政運営とのバランスの方針を市長に伺う。

【答弁】

- 本市財政を取り巻く外部環境の変化としては、物価高騰による物件費の増加や人件費の増加など経常収支率の悪化とともに、財政構造のさらなる硬直化が懸念されている。さらに、財政健全化法の指標である「将来負担比率」や「実質公債費比率」はともに中核市ワースト1位であり、財政調整基金についても、令和6年度当初予算に活用すると、残高が3億円となるなど厳しい財政運営が見込まれている。
- 南海トラフ地震対策などの待ったなしの行政課題や公約の実現に向けては、県が新たに創設した「人口減少対策総合交付金」の活用や、ふるさと納税の推進、ネーミングライツの導入などの税外収入の確保等により財源確保に努めてきた。
- 来年度は、第三者機関として、仮称「高知市財政問題懇話会」を開催し、財政構造の課題の洗い出しと共に、収支改善の取組みなどをご審議いただく予定であり、ご意見を十分に踏まえながら、市民の皆さんが明日へ希望が持てるよう、市政課題の積極的な展開という難しい舵取りに果敢に立ち向かっていく。

3. 2011高知市総合計画について(2問)

【質問】

ご自身の選挙公約との関係で、後期基本計画の期間中に高知市総合計画の抜本改定を行う意思があるか市長に伺う。

【答弁】

- 私の率直な実感としては、急速に変化する社会・経済情勢や、複雑化・多様化する市民ニーズに臨機に対応しながら、人口減少問題や南海トラフ地震への備え、地域共生社会の実現に向けて、柔軟かつ機動的に取り組んでいく必要があるため、整理をする必要を感じている。
- 総合計画は、各種行政計画の最上位に位置付けられる計画として、継続性・一貫性を重視した中長期的な視点が求められるが、真に適切な計画期間・構成となっているかも含め、時代の潮流に合わせた市民の皆さまに効果を実感していただけるような計画となるよう今後在り方を検討していきたいと考えている。

4. 令和6年度当初予算について(13問)

【質問】

初めての当初予算編成にあたって、私どもの予算要望や中期的な提言も踏まえ、「生活環境の安全化」のための予算確保にどのような決意で臨まれたのか、「市民生活密着型予算」及び「公共施設修繕予算」の概要と期待する効果について市長に伺う。

【答弁】

- 安心して暮らせる高知市としていくために、快適な都市空間を保つことは私たちの使命であると考えており、私の公約においても市民生活に欠かせないインフラの補修や計画的な長寿命化などの対応によって、市民生活の基幹となるインフラが正常に保てるよう努めることを掲げている。
- 市民ニーズの高い「生活密着型予算」としては、道路側溝の改良や舗装打ち換えなどの道路事業と水路の整備や浚渫等の河川水路に関する事業があるが、このうち、道路事業について市民要望に対する対応が追いついていない状況から、令和6年度予算より、国費を活用した事業メニューを検討し、「道路舗装費」の導入や現行の「狭あい道路整備等促進事業費」の事業費拡充を行い、前年度比で1億円の増額をして対応していく。

5. 教育行政について(3問)

【質問】

新年度を目前に控え、学校経営の責任者である学校長にはどのようなことを望まれるのか。また、教育委員会として、スクールソーシャルワーカーの増員配置を含めた現場サポート体制の充実にどのように取り組まれるのか教育長に伺う。

【答弁】

- 学校経営の責任者である学校長には「不易と流行」の視点をもって教育活動にあたってもらいたいと望んでいる。例えば、GIGAスクール構想によるデジタルの力を活用した、誰一人取り残すことのない教育活動の実現はまさに「不易と流行」の考え方に基いたものであると考えている。
- 教育委員会としては、スクールソーシャルワーカーが福祉の専門家として、子どもたちや保護者、そして、家庭を取り巻く環境に働きかけて支援を行い、改善に努めることは重要であると考えているので、他の支援員も含め可能な限り学校現場に配置するよう努力する。

【番外編】様々な活動に参加しています!

潮江東小学校防災訓練に参加し、避難所開設訓練等を行いました!



牧野富太郎博士のひ孫にあたる牧野一淳さんと一枚@牧野記念庭園



消防団員として潮江各地区の防災訓練に参加し、防災アドバイスを行いました!



要法寺にて、節分祈禱祭における水行に参加し、1年間の無病息災を祈りました!



プロフィール・市政に関するお問い合わせ

藤川ゆうすけプロフィール

出身地:高知県高知市(城山町に生まれる)
生年月日:平成3年1月25日(33歳)
座右の銘:一隅燈照
趣味:スポーツ全般、格闘技鑑賞、買い物
学歴:上街保育園卒→神田小卒→附属中卒→高知高専卒(2科)
職歴:元 高知県庁職員→元 衆議院議員 尾崎正直秘書
→高知市議会議員(2023年5月2日より1期目任期スタート)
資格:一級土木施工管理技士、防災士、赤十字救急法救急員
役職:六泉寺町内会副会長、自民党高知県連青年局組織広報部長 等

お気軽にご連絡下さい!



高知市議会会派控室(問い合わせ先)

☎088-823-9401
✉fujikawa.yusuke2022@gmail.com
〒780-8571
高知市本町5-1-45 3階自由民主党・中道の会控室

公式HP



各SNS

